

医福第237号の4
平成28年6月20日

(一社) 岐阜県医師会長
(一社) 岐阜県病院協会長
岐阜へき地医療支援センター長
岐阜県国民健康保険診療施設協議会長
県保健所長

} 様

岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課長

平成28年度岐阜県へき地医療研修会の御案内

日頃は、本県の保健医療行政に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、県内へき地医療を支える人材の育成、確保を目的に、下記のとおり、へき地医療に関心を持つ高校生・医学生に対し、地元との交流を通して、地域の実情やへき地医療の実態を知ってもらい、へき地における生活やへき地医療への理解、意欲を高めるための標記研修を、県北西部地域医療センター、自治医科大学卒業医師受入市町村会議との共催で開催します。

なお、県下各市町村、高等学校へは連絡済です。

記

日 時 平成28年8月19日(金) 午前10時～20日(土) 午後1時(1泊2日)

場 所 郡上市及びへき地診療所を有する市町村

テ ー マ 「今、ともに考えようへき地医療」

内 容 別紙チラシを御参照ください。

対 象 者 医師を目指す県内の高校生・医学部生、県出身の医学部生

申込期限 平成28年7月8日(金)

※高校生については各高等学校単位で学校を通じてお申し込みください。

※医学部生については直接県北西部地域医療センター国保和良診療所にお申込みください。

そ の 他 昨年度の開催状況が下記URLで御覧いただけます。

県北西部地域医療センター ホームページ

<http://www.gujo-tv.ne.jp/~clinic-wara/hekichiiryokenshu.html>

E-mail wara-clinic@city.gujo.gifu.jp

(問い合わせ先)

岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課

医療人材確保係

担当：辻、小西

TEL：058-272-8879 FAX：058-278-2871

(申込み先)

県北西部地域医療センター国保和良診療所

担当：河合、川尻

TEL：0575-77-2311 FAX：0575-77-2376



今、ともに考えよう へき地医療

2016 8/19 [金] > 8/20 [土]

- へき地の医療現場を見る
- 地域医療の現状を知る
- 日本の医療と自分の未来がわかる
- 医師を目指す学生さんのための研修会
- 岐阜県内各地の自然豊かな里々で
- 地域医療の生きた姿にふれてみよう!

主催：岐阜県、県北西部地域医療センター
共催：自治医科大学卒業医師受入市町村会議



参加費
無料

1泊2日

対象
高校生
医学部生

モチベーションが上がった。医師という職業の責任も感じることができ、自分の意志もまた強くなった (高校生)

今後は医師として求められる知識や腕以外の能力、例えばコミュニケーション能力なども身につけたい (大学生)

医師と患者の関わりの深さとあたたかさを実感した (高校生)

医師のありかたや患者との接し方について認識できた (大学生)

へき地医療でしか得ることのできないものがあると気付いた (大学生)

人間らしい、人対人の医療がある。都市部の病院とは根本的に考え方が違う (高校生)

自分が思っていたよりもオールマイティに対応できたり、患者さんに合わせて柔軟に対応していた (大学生)

患者さんとの関わり合いを大切に、心の通じあえる医師を目指したい (高校生)

へき地への見方が変わった (高校生)

医師にとって必要なことは技術は勿論、患者とのコミュニケーションが重要であることを学んだ (高校生)

患者と患者の方と、そしてその家族の方々のあたたかみあふれる繋がりのようなものを感じられた (大学生)

へき地医療のほうがかかっていると感じた (高校生)

地域医療に必要な医師は、専門的なことだけでなく、どの分野のことにも対応できる柔軟な能力が大切 (高校生)

住民の方と医師、さらには医師同士も仲が良く、連携プレーで成り立っている (高校生)

大きな病院で働くのも良いけど、へき地で働くのもいいな (高校生)

信頼される医師になりたい。もっとたくさん勉強したいと思った (高校生)

受験をがんばって、大学で医学について学んで、将来は地域医療について、深く学んでいきたい (高校生)

研修プログラム

2日目

【場所】
郡上市・和良町民センター



発表会

へき地医療で感じたことを共有！

医学部生と
意見交換会

医学部進学を志した
先輩からの沢山のアドバイスが



地域住民と語る会

へき地やへき地医療について
ワークショップ形式で
地域住民の方々と語り合います



1日目
受付・開会式
【場所】郡上市・白鳥ふれあい創造館

フィールドワーク
グループに分かれ地域の
診療所を見学・体験
【場所】県内市町村の診療所

1日目のまとめ
明日の発表会に備え
フィールドワークの感想をまとめます
【場所】郡上市・和良町民センター

夕食（懇親会）
夕食は郡上市の郷土料理
【場所】郡上市八幡町城下町



▶ センター長から



県北西部地域医療センター長
兼 国保白鳥病院長
後藤 忠雄 医師

このリーフレットを手にとっていただき、ありがとうございます。

『へき地医療ってなんだ?』と思われる方もおられるでしょう。

実は、岐阜県は全都道府県の中でも人口当たりの医師数が少なく（ご存知でしたか?）、かつ比較的県の岐阜市とその周辺に集中してしまっています。

しかし、そこは広大な岐阜県。岐阜市とその近郊といった都市部から離れた『やや資源も少ない地域＝へき地』にもたくさんの人々が生活を営んでおり、健康や医療、福祉を支える医師が身近に求められています。

マスコミなどで皆さんが目にするのは、すごい高度な医療に取り組む医師であったり、二十四時間がんばり続ける医師であったりするかもしれません。

しかし、もっと当たり前、地域住民の皆さんの身近なところで行われている医療と、その医療が行われている地域の姿を、あなた自身の目で確かめてみませんか? このへき地医療研修会はそのようなあなたのご期待に応えることができるとても素敵な経験となるでしょう。医師を目指すあなたも、医師がちょっと片隅にあるあなたも、ないけど好奇心旺盛なあなたも、ぜひご参加ください。私たちが皆さんとお会いできることを楽しみにしています!

▶ 医学部へ進学した先輩から



岐阜大学医学部医学科1年
加納 穂乃香さん

担任の先生の勧めでこの研修会を知りました。地域枠での受験を考えていましたが、へき地医療を間近で見たことはなかったため、実際に体験し学びたいと感じ参加を決めました。

私たちの班は、診療所で医療器具に触らせていただいたり、消防署で救急体制について学んだり、デイサービスセンターで高齢者の方々とふれ合いました。

研修中に医師の話聞き、住民の方々のワークショップを通じて、へき地医療についてのイメージが変わり、へき地における医師の役割や地域全体の連携の重要性を学び、患者さん一人一人に親身になることに加え、地域全体の医療を支えていける医師になりたいと感じました。

実際に目で見て体験することから得られることは大きく、自分自身のモチベーションアップにもつながるので、ぜひ参加してみてください。

研修会詳細

日時
平成28年 8/19(金) 午前10時～
8/20(土) 午後1時(1泊2日)

場所
郡上市及びへき地診療所を有する近隣市町村
※JR岐阜駅から無料送迎バスあり(要予約)
宿泊 郡上市和良町・山崎屋旅館

参加対象
医師を目指す岐阜県内高校の在校生、
岐阜県内の医学部生および県出身の医学部生
募集人数 50人

お申込み方法 平成28年 7/8(金) 申込締切(必着)

高校生

学校単位でのお申込みとなります。
担当教諭までご相談ください。

医学部生

下記必要事項をEメールにて県北西部
地域医療センター国保和良診療所まで
送りお申込みください。

- 氏名(ふりがな) ●性別 ●年齢 ●生年月日
- 自宅住所 ●研修会期間中連絡できる電話番号
- 学校名(学年)
- JR岐阜駅からの無料送迎バス利用の有無

お申込み・お問合せ先

県北西部地域医療センター
国保和良診療所事務局
(担当:河合、川尻)

☎0575-77-2311 ☎0575-77-2376

✉wara-clinic@city.gujo.gifu.jp

🌐http://www.gujo-tv.ne.jp/~clinic-wara/

岐阜県健康福祉部
医療福祉連携推進課

☎058-272-8879